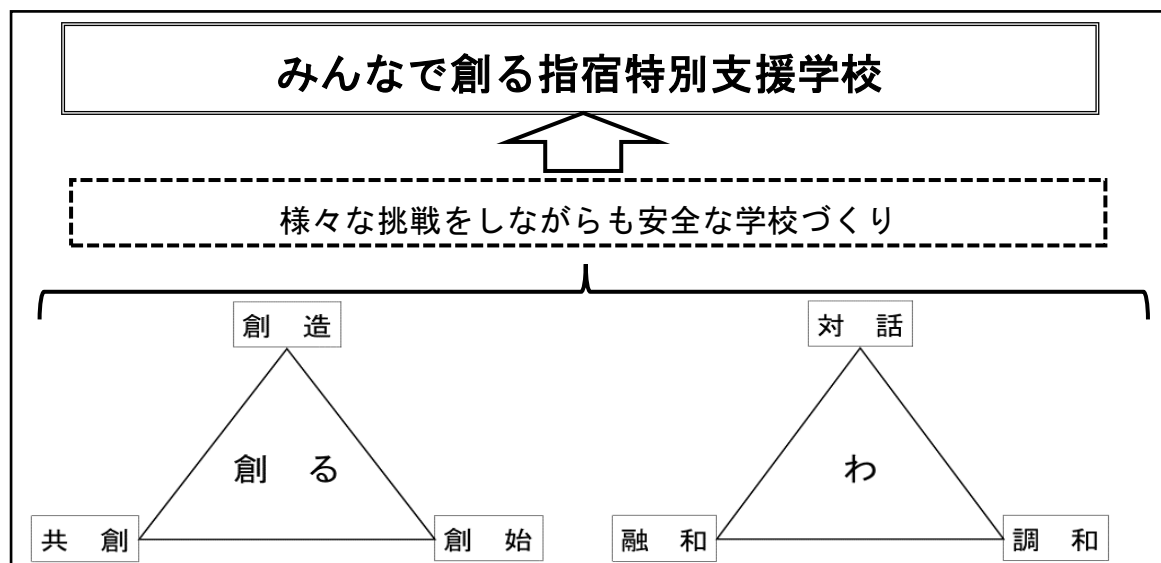


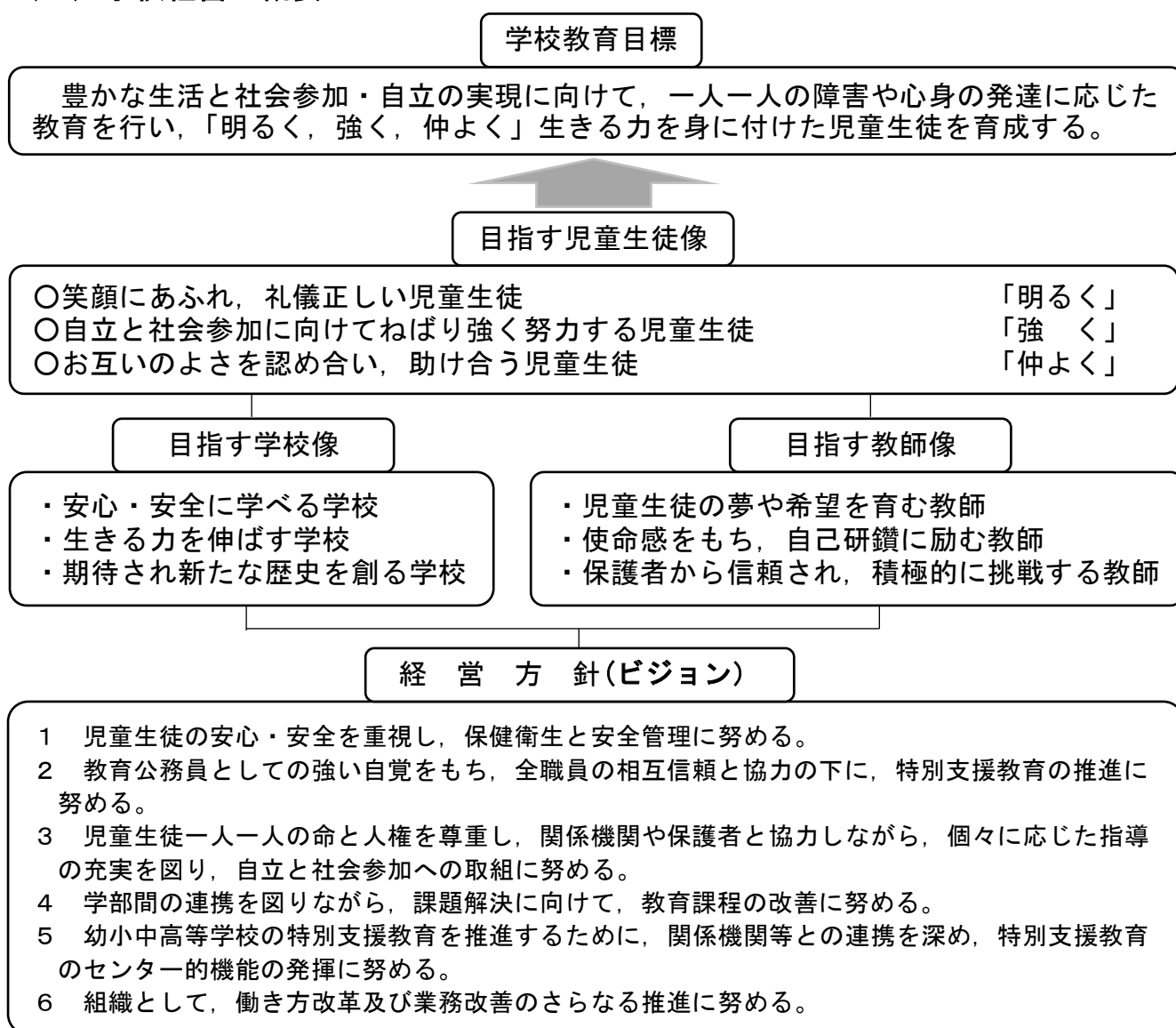
鹿児島県立指宿特別支援学校の教育

(1) 学校経営の素

キーワードは「創造」、「共創」、「創始」、「対話」、「融和」、「調和」、「挑戦」、「安全」



(2) 学校経営の概要



重点目標(ミッション)

- 1 学校安全対策を全職員で確認し、安心・安全な学習環境を構築する。 (安心・安全な学校)
 - 毎月の安全点検を確実に実施し、事務室・管理職で確認する。
 - GWを活用してヒヤリハットの共有を確実に行う。
 - 学校安全対策委員会で、防火防災、通学指導、給食指導、保健指導(感染症対策)の確認し全職員で共有する。
- 2 専門性の向上に取り組み、児童生徒の発達段階や特性に応じて、一人一人を伸ばす指導に当たる。 (授業力の向上)
 - 一人一人の児童生徒の実態及び課題を明確にした目標設定(めあての提示)を行う。
 - 一人一人の児童生徒の「興味関心」や「やる気」を高めるような学習活動を計画する。
 - 上記のことを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実践を行う。
- 3 児童生徒一人一人の自立と社会参加に向け、特性に応じた生徒指導及び進路指導を実践する。 (生活力の育成)
 - 一人一人の児童生徒の課題を学部で確認した対応を行い、場合によっては学校全体で共有する。
 - 各学部段階に応じた進路指導の在り方を確認するとともに、保護者への情報提供も積極的に行う。
 - 大学、病院などの関係機関と連携した相談及び研修を計画的に行う。
- 4 PDCA サイクルに則った教育課程の実施及び改善を推進する。 (教育課程の編成)
 - 年間指導計画を基に授業実践を行い、時数及び学習内容の評価を確実に行う。
 - 上記のことを材料に、次年度の教育課程編成に取り組む。
- 5 特別支援教育への理解啓発を図りながら、各教育機関や福祉機関等との連携を推進する。 (センター的役割)
 - 学校間交流学习及び居住地校交流学习を通して、特別支援教育の理解啓発を行う。
 - 特別支援教育のセンター的役割を果たすために、地域の幼保・小・中・高等学校のニーズに応じた巡回相談等を積極的に行う。
 - 創立 50 周年記念事業実行委員会を立ち上げ、本校教育について広く啓発できるように記念事業を計画推進する。
- 6 業務改善の意識化・簡素化・効率化の視点で 1～5 の重点目標の達成に向けて取り組む。 (業務改善)
 - 行事の精選や簡略化につながるアイデア(起案)については、積極的に検討をする。
 - 7:00 警備解除及び 19:15 警備セットの共通認識に伴った計画的業務遂行を推進する。
 - 19:00 以降の業務については申請制を取り入れる。